

しずおか

県勤協連ニュース

2023年1月1日

388号

(2022年12月・2023年1月 合併号)



静岡県勤労者協議会連合会

ホームページ <http://kinrokyo.net/shizuoka/>

Eメールアドレス shizuoka@kinrokyo.net

2023年 年頭挨拶

静岡県勤労者協議会連合会
会長 堀内 武治

明けましておめでとうございます。

県下各地の勤労者協議会の皆様方には、2023年の新春をご家族ともども、お健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年も、岸田自公政権はエネルギーの高騰、円安に伴う物価高、コロナ禍の中で、賃金も上がらず、ますます圧迫され危機に瀕しつつある国民生活を本格的に顧みることなく、相変わらず企業・産業界本位の政治を推し進めています。

そして、今年から5年間で43兆円にも及ぶ防衛費を投入し、日米一体となった集団的自衛権行使体制の確立と強化を目指し、さらに今後も防衛費のGDP比2%以上を念頭に、世界第3位の軍事大国日本（中日新聞6月3日社説）への道を突き進もうとしています。



トマホークは憲法違反

とりわけトマホークの導入は絶対に認めるわけにはいきません。

トマホークは米国で開発された巡航ミサイルです。射程距離1600キロ水上艦や潜水艦から発射されジェットエンジンで推進し、低空飛行によりレーダーをかいくぐり精密に敵地重要施設を打破できる高性能なミサイル兵器です。

このトマホークを装備するということは、もはや日本は専守防衛を捨てて、国際紛争を米国と一体になり、軍事力で対処する姿勢を世界に示すこととなります。

まさにこのことは「平和国家日本」という「国のかたち」を変えることであり、東アジアにより一層の緊張感と軍拡競争を持ち込むこととなります。

軍事力、戦争で国や国民を守ることはできません。「絶対不戦」「絶対平和」こそ国を守り国民を守る国民にとって唯一の安全保障です。

私たち勤労者協議会は、結成以来一貫して「平和で豊かな人間性あふれる社会」を目指し活動を進めてきました。そして、何よりも「平和憲法を護る」闘いを常に追求してきました。今年も厳しい情勢の中ではありますが、原則を大切にして全力で活動を進めていく決意を表明し、新年の挨拶とします。



新春インタビュー

小山展弘衆議院議員に聞く



質問 1.

社会問題にもなっている「旧統一教会」に関する国会での取組みと、関連して11月26日までの短期間で3名の閣僚が辞任に追い込まれています。この件についてのお考えと報告をお願いします。

旧統一教会（現・世界平和統一家庭連合）やその関連団体は、「靈感商法」など多くの消費者被害問題を起こし、数十もの刑事事件で有罪判決が下りるなど社会規範性が厳しく問われ、いわゆる「反社会的勢力」と言われています。ある芸人さんが「芸能界では反社会的勢力との関係が明らかになると仕事を失うが、政治家は反社会的勢力と関係を持っても職を失わず、国葬で見送られる」とコメントしました。

このような矛盾はあってはなりません。政治や企業、協同組合や労働組合を含むすべての団体は「反社会的」「カルト的」宗教団体と関係を持つべきではありませんし、これまでの関係についてもしっかりと調査とケジメが必要です。統一地方選や国政選挙では、旧統一教会とは関係を持たない議員を一人でも多く当選させ、政治と旧統一教会との関係を断っていく必要があると思います。

それにしても、アジアに対して強硬な態度を示し、歴史修正主義的な発言も行い、「美しい国・日本」と主張してきた安倍晋三さんが「日本はサタン（悪魔）の国であり、韓国に多額の送金をすべき」との贖罪史観を主張した旧統一教会と密接な関係があったことが明らかになったことには大変驚きました。私達はどんなに苦しくても、誠実に、一貫性を持って政治に臨んでいくべきと思います。

質問 2.

2022年は相次ぐ値上げラッシュで、私たちの生活も非常に苦しくなっています。国民の生活と暮らしを守るための取組みについてご説明をお願いします。

物価高は複合的な要因で世界的に起きていますので、特効薬のようなものはありませんが、まずは大きな要因となっている円安を改める必要があります。実質実効為替レートでみれば、現在の円の価値は1\$360円であった昭和40年代くらいまで落ちています。この円安の原因は、諸外国が物価上昇に対して金利を上げる中、日本だけが金融緩和を継続し、内外金利差が拡大しているからで、まさにアベノミクスの失政のつけなのです。金融政策の転換が必要です。

また、日本では、国民の所得が伸びていないので、他の先進国と比べて生産者価格の上乗せが出来ていません。ですから、賃金を上げられないという悪循環に陥っています。日銀が金融政策の転換を渋るのも、一人一人の所得が伸びておらず、人口が減少し、個人消費が伸びていないという構造的要因があるためです。

一人一人の所得が増えていくように、労働分配率を上げる必要があります。個々人の給与があがるような政策が必要です。内部留保が過去最高を記録する現在、「法人税の累進化」など、内部留保から賃金上昇に誘導する政策も検討すべきでしょう。

質問 3.

2022年11月に防衛力の在り方について論議してきた政府の有識者会議が報告書を提出しました。報告書では、5年以内に防衛力を抜本的に強化するため、増税の必要性に言及し『国民に幅広く税負担を求める』ことを明記しています。私たちの生活は値上げラッシュで苦しくなり、介護保険の見直し、年金

もカットされている時に防衛費だけがうなぎ上りとなっています。これで本当に国民の理解が得られるのか疑問ですが、お考えをお聞かせください。

理解は得られないと思います。敵基地攻撃能力を備えるためとしていますが、中国の軍拡スピードは非常に早く、2017年には米国のランド研究所が米中開戦ならば米国敗北のシミュレーションがあります。2025年にはその差がさらに拡大すると言われており、日米が共同しても中国との戦力差を埋められないことも想定される状況になっています。また、日本が反撃能力を備えれば、中国はさらに軍拡し、日本は、その軍拡に対抗できる経済・財政の状況ではありません。

米中対立の戦火に巻き込まれることがないようにしなければなりません。あえて日本の領土・領空・領海から外には攻撃をしない、そのような兵器も持たない方針を維持することで対立のエスカレーションを防ぐことも必要です。過剰な兵器を持ち、軍拡競争に巻き込まれなければ、防衛費を増やす必要もありません。

質問 4.

2023年は統一自治体選挙が実施されます。静岡県では静岡県議会議員選挙をはじめ、静岡・浜松市長選挙が4月に予定されています。当勤労者協議会も機関誌で立候補予定者の紹介をして、県議会議員選挙を闘う決意でいます。

是非とも小山議員の激励をお願いします。

「反社会的」「カルト的」集団である統一教会と関わりがあった議員、関わりがあったにも関わらず、マスコミの取材などでは「無回答」を押し通した議員などには、地方政治を任せられません。

また、2021年に川勝知事に不信任案を提出する騒動を起こした静岡県の自民党は「反対ばかり」の稚拙な行動が目につきます。静岡県政においては命の水である大井川の水を守るために体を張って頑張っている川勝平太県知事を支える県議が一人でも多く必要です。平和を守り、まっとうな地方政治を実現するために、勤労者協議会推薦候補の一人でも多い当選のため、私も全力で応援します。

インタビュー 2022年12月21日 小山展弘事務所のご協力に御礼申し上げます。(編集部)

◇ 小山氏の活動日誌（ツイッター）より



掛川市の山東茶業組合さんが農林水産祭内閣総理大臣賞、全国茶品評会農林水産大臣賞を受賞。記念祝賀会に出席し、ご挨拶。数多くの受賞歴があり、茶草場農法にも取り組む山東茶業組合さんの存在は、静岡の茶業者に勇気と元気を与えるもので、産地のリーディング組合として益々の活躍を祈っています。

📷

先日、「掛川市紅白歌合戦」が開催され、久保田市長さん他の方と、開会前にご挨拶の機会をいただきました。90歳以上で出場された方も数名いらっしゃって、頭が下がりました。三年ぶりの開催ということで皆様、大変気合いが入っていらっしゃるよう見受けられました。益々のご健勝お祈り申し上げます。



<社説>開戦の日に考える 戦争の足音が聞こえる



日本が焦土と化した太平洋戦争は 1941（昭和十六）年のきょう 12 月 8 日に始まりました＝写真は、開戦を伝える国民新聞（中日新聞社が発行する東京新聞の前身の一つ）夕刊。あれから 81 年。憲法 9 条に基づく「専守防衛」が大きく変質しようとしています。耳を澄ませば、戦争の足音が近づいてくるようです。

戦後日本の防衛政策は、戦争放棄と戦力不保持の憲法九条の下で組み立てられてきました。日本の安全保障を米軍の攻撃力に委ね、日本の自衛隊は専守防衛に徹するという役割分担です。

自衛隊の装備は自国防衛目的に限られ、「他国に侵略的攻撃的脅威を与える」攻撃的兵器は、あえて保有してきませんでした。

それは日本人だけで 310 万人というおびただしい数の犠牲者を出し、交戦国だけでなくアジア・太平洋の人々にも大きな犠牲を強いた戦争への反省に基づくものでした。日本は再び軍事大国にならないとの誓いでもあります。

◆平和国家を歩んだ戦後

安倍晋三内閣当時の 2013 年に策定された国家安全保障戦略は次のように記します。

「我が国は、戦後一貫して平和国家としての道を歩んできた。専守防衛に徹し、他国に脅威を与えるような軍事大国とはならず、非核三原則を守るとの基本方針を堅持してきた」

「こうした我が国の平和国家としての歩みは、国際社会において高い評価と尊敬を勝ち得てきており、これをより確固たるものになければならない」

この平和国家としての歩みを大きく踏み外すのが、岸田文雄首相が年内に予定する国家安保戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画の三文書改定です。その狙いは、他国領域を攻撃できる、政府与党が反撃能力と呼ぶ敵基地攻撃能力の保有と、防衛力強化のための財源確保です。

歴代内閣は、他国領域にあるミサイル発射基地への攻撃は「座して自滅を待つべしというのが憲法の趣旨とは考えられない」と憲法 9 条が認める自衛の範囲内としつつも、他国を攻撃できる兵器を平素から備えることは「憲法の趣旨ではない」ともしてきました。

長射程の巡航ミサイルなど、これまで保有してこなかった敵基地攻撃能力を実際に持てば、専守防衛を逸脱することになります。

政府は、この敵基地攻撃能力を安倍内閣が一転容認した「集団的自衛権の行使」にも使えるとの見解を示しています。日本が攻撃されていないにもかかわらず、他国領域を攻撃することになれば、他国同士の戦争に積極的に参加することにはほかなりません。

岸田政権が敵基地攻撃能力の保有検討に至った背景には、軍備増強を続ける中国や、ミサイル発射を繰り返す北朝鮮の脅威があります。周辺情勢の変化に応じて安保政策を見直し、防衛力を適切に整備することは必要です。

しかし、軍事力に軍事力で対抗することが地域情勢の安定につながるとはとても思えません。逆に軍拡競争をあおる「安全保障のジレンマ」に陥るのは必定です。

◆軍拡増税という分岐点

抑止力の向上が狙いでも、攻撃的兵器をたくさん備え、他国領域も攻撃できると声高に宣言するような国を「平和国家」とはとても呼べない。戦後日本の平和を築いてきた先人への背信です。

岸田首相は2023年度から5年間の防衛費総額を現行の1.5倍超の約43兆円とし、2027年度には関連予算と合わせて国内総生産（GDP）比2%にするよう関係閣僚に指示しました。2022年度の防衛費約5兆4000億円はGDP比約1%ですので倍増になります。

そのための財源をどう確保するのか。政府の有識者会議は歳出改革とともに「幅広い税目による負担」を求めています。

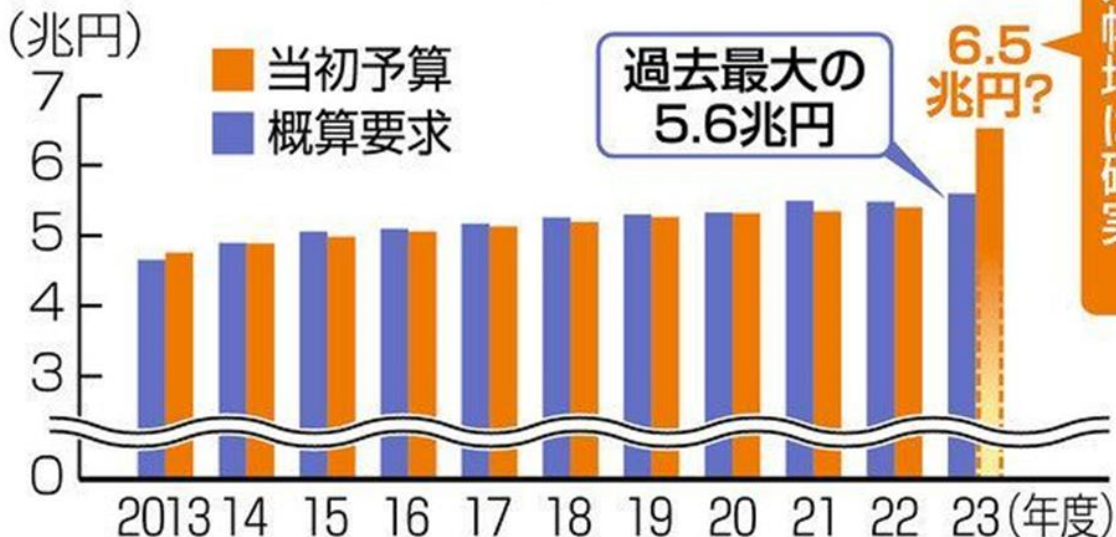
物価や光熱費が高騰し、社会保障費負担も増える一方、賃金はなかなか上がらず、国民の暮らしぶりは苦しくなるばかりです。

名称・射程	概要
12式地对艦誘導弾能力向上型 約900キロ以上	国産で地上発射型や艦艇、戦闘機搭載型も開発中。地上発射型は2026年度配備目指す。対地攻撃機能を加える構想も
島しょ防衛用高速滑空弾 約400キロ以上	国産で開発する地对地ミサイル。26年度配備目指す。高高度を飛び、迎撃が困難
極超音速誘導弾 不明	国産で研究開発中。実用化の時期は未定。音速の5倍以上で飛び、迎撃が困難
JSM 約500キロ	ノルウェー製の空対艦、空対地ミサイル。納入され次第、戦闘機F35に搭載予定
JASSM 約900キロ	米国製の空対地ミサイル。23年度に初めて取得費が計上され、戦闘機F15に搭載予定

※イメージ図は防衛省提供。射程は取材などを基に推定

敵基地攻撃能力への転用が想定される
主なスタンダード・オフ・ミサイル

防衛予算の推移



いくら防衛のためとはいえ、国民にさらなる増税を強いるのでしょうか。国民を守るための防衛費負担が暮らしを圧迫することになれば本末転倒です。とても「軍拡増税」など認められません。

戦争はいつも自衛を名目に始まります。そして、突然起こるものではなく、歴史の分岐点が必ずどこかにあるはずです。

将来振り返ったとき、「軍拡増税」へと舵（かじ）を切ろうとする今年がその分岐点かもしれません。感性を磨いて耳を澄ましてみると、戦争の足音がほら、そこまで…。

(東京新聞 2022. 12. 08 より)

各地区活動報告

☆袋井市勤労協

『市政懇談会』を開催

・身近な課題の解決・前進を目指す「行政要望書」提出し意見交換・



11月12日(土)勤協会館に於いて、袋井市役所より小澤産業政策課長他2名の出席と会員17名の参加により市政懇談会を開催しました。

桑原会長・小澤課長の挨拶に続いて、要望書を一項目ずつ読み上げ、要望の趣旨を説明し意見交換しました。

従来は、事前に要望書を提出し、懇談会の場で回答を頂く形でしたが、要望の真意を正確に伝え、理解を深めて頂くことを主眼とする会議に変わりました。

要望事項の提出者を中心に、生の声を伝え誠意ある回答をお願いしました。

尚、予定した市長講話は、大場市長が公務により欠

席となったため、中止し別の機会に計画することとなりました。

行政要望等お気付きのことがありましたら事務所へ連絡下さい。

袋井市への要望書 《抜粋》

「要望事項」

- 一、愛野公園野球場付近の屋外トイレ整備改修を
- 二、原谷川親水公園への企業看板及び袋井市をアピールする看板の設置
- 三、ごみ減量推進施策の進捗状況は。
減量の努力度を広く市民に訴える方法の提案
- 四、浅羽海岸松林再生活動(下草刈り)時に障害となる松の下枝伐採を要望
- 五、台風15号による洪水・浸水箇所復旧状況は
ゲリラ豪雨被害防止対策の計画的推進を
- 六、交通安全対策で、横断歩道・センターライン・路側帯等の白線引き直し要望
- 七、空き家放置に対するルール作りと対策強化を
- 八、超高齢化社会における見守り・支援策

①民間セキュリティサービスの周知と活用促進

②高齢独居者世帯の家事支援ロボット配備やハイテクを利用した対策の推進を



愛野公園(袋井市)

「質問事項」

- 一、第二次袋井市総合計画後期の進捗状況は。又、市民への周知はどのようにしていますか
- 二、浜岡原発災害発生時の対処
 - ①全市民避難計画と市民のとるべき行動は
 - ②放射能漏れに対する訓練は。又、病院は対応が可能ですか
- 三、水道管の老朽化対策工事の進捗状況は
又、更新を必要とする総延長区間と完了時期の見通しはいつですか。

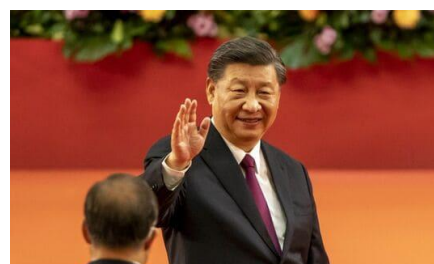
2022年の10大ニュース

- 1位：安倍晋三元首相銃撃死と統一教会問題
- 2位：知床遊覧船 KAZU I 沈没
- 3位：阿武町で4630万円誤送金
- 4位：成人年齢18歳に引き下げ
- 5位：コロナウイルス第7波猛威
- 6位：東京五輪汚職
- 7位：三幸製菓の工場で火災6人死亡
- 8位：高槻資産家女性殺人養子自殺
- 9位：埼玉立てこもり医師殺害
- 10位：名古屋高速で空港バス横転炎上2人死亡



国際10大ニュース

- 1位：ロシアがウクライナに侵攻
- 2位：円安加速
- 3位：エリザベス女王崩御チャールズ新国王即位
- 4位：英首相交代劇
- 5位：ソウル梨泰院ハロウィンで157人死亡
- 6位：イーロン・マスクがツイッター買収完了
- 7位：中国習近平3期目&ゼロコロナ大規模抗議
- 8位：北朝鮮がミサイル連射
- 9位：ヒジャブ着用女性死亡で抗議デモ
- 10位：アメリカ中間選挙





ご注意ください！

「全労済に委託されている」
(こくみん共済 coop)
とかたる業者の訪問が
報告されています。

※「共済金で代金は全額支払われる」「共済金の請求を代行する」などと言って
修理の勧誘を受けた場合は、その場で契約などに応じず、当会にご相談ください。



こくみん共済 coop(全労済)では、ご契約者さまからの
ご一報を受けないまま、電話で訪問日時などをご連絡したり、
外部に委託して調査を行うことはありません。

こくみん共済
coop

「こくみん共済 coop」は、営利を目的としない団体の形態として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心と安全を第一に貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住または勤務地の共済生活組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済(全労済)
coop

たすけあいの輪をむすぶ

静岡推進本部
(静岡県労働者共済生活協同組合)

●ここに記載されている内容は、共済制度の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意事項等)」を必ずご確認ください。

つもる話は
アフター
ファイブに。

はずむ話は
デイ
タイムに。



働く人に便利な 2つの「相談会」。

〈ろうきん〉全店OPEN!
水曜よりみち相談会

17:00~19:00

毎週水曜日 夕方 予約優先^{※1}

県内(ろうきん)の全営業店で開催中!

ローンのこと、お金のこと。
ご相談内容が充実。

住宅ローンなど、各種ローンのご相談はもちろん、
預金や個人向け国債、投資信託、個人年金保険の
ご相談もお取扱いします。^{※2}
お金のことなら何でも幅広くご相談ください。

日曜のんびり相談会

9:00~12:00 13:00~16:00

毎週日曜日 予約制

県内(ろうきん)のローンセンターで開催中!

週末はご家族で。
3ローンセンターでは
土曜日も相談OK。

お客さまの声にお応えして土曜日も相談会を開催。

土曜日開催店
◎浜松中央ローンセンター
◎静岡中央ローンセンター
◎富士ローンセンター

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。

※2 個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談は予約制となります。

※ いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。※ 佐藤総合相談センターは、日曜のんびり相談会を開催していません。

〈ろうきん〉が初めての方も大歓迎。ぜひお近くの〈ろうきん〉へ。

お近くの(ろうきん)はこちら!



いつもあなたの目線で。
R 静岡ろうきん

お問合せ・ご予約は

ビデオdeろうきん 携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
0120-609-123

インターネットホームページ
https://shizuoka.rokin.or.jp

